

第87回佐賀県メーデーに約650人が結集

すべての労働者が連帯で、戦争法ストップ、立憲主義を取り戻そう



山口光貴さんのコンサートには多くの高校生も



佐賀中央メーデー



三神地区メーデー



第87回佐賀県メーデーは5月1日、2日に県内4会場で実施されました。参加者数は佐賀中央150名、唐松地区200名、杵藤地区60名、三神地区100名と約510人と休日などで参加者が危ぶまれましたが各会場で例年並みに集まり祭典を祝いました。

「ムツゴロウ広場」で開催した佐賀中央メーデーで北野実行委員長（県労連議長）は安保法施行やオスプレイ配備など戦争する国づくりをすすめる安倍首相と批判し「安倍政権を止めることができるのは私達の運動と国民一人一人の良識」としすべての労働者の連帯を呼びかけました。また熊本大震災の被災者に対し黙祷をした後、カンパを呼び掛けました。

鳥栖市文化会館で開催した三神地区メーデーは100人以上が参加。デモも60人をこえ例年より活気ある集会でした。発言では鳥栖の9条会から山元むつみ氏の訴え。2000万署名の取り組みの交流、高教組や年金者組合の裁判では不利益を受けたら声を上げようと訴えました。

武雄市文化会館で開催した杵藤地区メーデーは、例年より参加者は若干少なかったのですが、デモ行進にはほぼ全員が参加するなど一体感ある集会となりました。

2日にアルピノで開催した唐松地区メーデーは共産党、社民党が挨拶をおこなうなど、この間唐津ですすんでいく共闘が象徴される集会でした。また消費税反対や玄海原発再稼働反対などを訴えるとともに、戦争法廃止し安倍政治を終わらせようの特別決議をあげ参議院選挙に向け力を合わせることを確認しました。

集会後はすべての会場でパレード行進がおこなわれ、行楽や仕事帰りの人々に労働者の熱い思いを声高く訴えました。